

東日本大震災・原子力災害伝承館 館内語り部講話スケジュール

1月	午前 ①10:00~ ②11:15~	午後 ③13:15~ ④14:30~
1 木		
2 金		年末年始休館（12/29~1/3）
3 土		
4 日	紙芝居『菜の花物語』（南相馬市）	当時11歳にとっての東日本大震災（富岡町）
5 月	震災経験とその後の活動（南相馬市）	『残照』～震災の記憶～（相馬市）
6 火	休 館 日	
7 水	東日本大震災と避難生活の実態（浪江町）	東日本大震災ーあの日から14年が過ぎて（南相馬市）
8 木	東日本大震災から考える防災と社会課題（大熊町）	長い避難生活を支えた励ましの数々（富岡町）
9 金	震災発生から全町避難を振り返って（富岡町）	役場職員 震災直後の7日間（浪江町）
10 土	震災・避難・現在の歩み（富岡町）	原発から25キロに住む1人として（南相馬市）
11 日	当時11歳にとっての東日本大震災（富岡町）	原発事故が学校にもたらしたもの（南相馬市）
12 月	伝統文化存続の危機と伝承（双葉町）	震災当日の行動と教訓及び復興事業について（いわき市）
13 火	休 館 日	
14 水	福島第一原発事故における病院避難について (東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です)	復興を支える 人の繋がり（富岡町）
15 木	震災経験とその後の活動（南相馬市）	『残照』～震災の記憶～（相馬市）
16 金	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！（南相馬市）	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える（富岡町）
17 土	変わりゆくふるさと それでも前を向いて(双葉町)	あの日を 忘れない それが備えの第一歩 ～震災の経験から伝えたいこと～（南相馬市）
18 日	生きのびるために（双葉町）	東日本大震災 娘との日々（富岡町）
19 月	原発事故が学校にもたらしたもの（南相馬市）	震災と私 ～その時、私の周りで起きたこと～（双葉町）
20 火	休 館 日	
21 水	10:00~ 震災後の2日間とその後（大熊町） 11:15~ 震災・原発事故から復興へ（大熊町）	13:15~ 震災後の2日間とその後（大熊町） 14:30~ 震災・原発事故から復興へ（大熊町）
22 木	東日本大震災と避難生活の実態（浪江町）	「当たり前」はない（大熊町）
23 金	震災・原発事故を語る（双葉町）	役場職員 震災直後の7日間（浪江町）
24 土	生きのびるために（双葉町）	原発から25キロに住む1人として（南相馬市）
25 日	ふるさとで暮らす（大熊町）	置き去りにされた動物（浪江町）
26 月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、 相馬の実家、そして大切な家族」（相馬市）	震災当日の行動と教訓及び復興事業について（いわき市）
27 火	休 館 日	
28 水	あの日の震災から学んだこと（富岡町）	紙芝居で伝えたいこと（浪江町）
29 木	『残照』～震災の記憶～（相馬市）	双葉の子どもたち（双葉町）
30 金	震災時の体験と伝えたいこと（大熊町）	あの日を 忘れない それが備えの第一歩 ～震災の経験から伝えたいこと～（南相馬市）
31 土	震災経験とその後の活動（南相馬市）	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える（富岡町）

※タイトル横の（ ）内は語り部の震災当時の居住地です。

※スケジュールは2025/12/21現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。